



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月5日

上場会社名 株式会社タチエス 上場取引所 東
 コード番号 7239 URL <http://www.tachi-s.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 雄一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 小松 篤司 TEL 042-546-8117
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	49,089	29.2	△2,658	—	△2,636	—	△2,825	—
2021年3月期第1四半期	37,986	△47.8	△5,542	—	△7,097	—	△7,172	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 53百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △8,115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	△82.57	—
2021年3月期第1四半期	△209.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	151,103	78,499	47.7
2021年3月期	150,994	78,670	48.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 72,126百万円 2021年3月期 72,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	6.50	6.50
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	31.80	—	31.80	63.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	234,000	17.9	1,400	—	1,800	—	100	2.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	35,242,846株	2021年3月期	35,242,846株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,021,032株	2021年3月期	1,021,032株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	34,221,814株	2021年3月期1Q	34,197,241株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種拡大や各種政策の効果により経済活動の持ち直しが期待されるものの、変異ウイルスの拡大リスク等、依然として予断を許さない状況が続いております。一方、海外におきましては、中国経済は引き続き緩やかな回復が見られ、ワクチン接種が進展する欧米では、景気は依然として厳しい状況にあるものの経済活動の制限が段階的に緩和され、世界経済は正常化に向かいつつあります。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内外共に半導体不足の影響は続いているものの、新型コロナウイルス感染拡大で大幅に落ち込んでいた前年同四半期の販売台数を総じて上回りました。特に、中国市場では新エネルギー車の販売台数が月別で過去最高を更新するなど、市場の拡大が続いています。

このような経営環境のもと、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は490億8千9百万円と前年同期比29.2%増となり、これに伴い営業損失は26億5千8百万円（前年同期は営業損失55億4千2百万円）、経常損失は26億3千6百万円（前年同期は経常損失70億9千7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は28億2千5百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失71億7千2百万円）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等の適用により、売上高は56億7千8百万円減少しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は178億8千2百万円（前年同期比19.9%増）、営業損失は6億6千万円（前年同期は営業損失26億8千6百万円）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は56億7千8百万円減少しております。

②北米

売上高は102億7百万円（前年同期比67.6%増）、営業損失は7億6千万円（前年同期は営業損失6億9千9百万円）となりました。

③中南米

売上高は124億2千3百万円（前年同期比3.3%減）、営業損失は12億5千4百万円（前年同期は営業損失15億8千万円）となりました。

④欧州

売上高は3億1千万円（前年同期は1千万円）、営業損失は9千5百万円（前年同期は営業損失1億1千2百万円）となりました。

⑤中国

売上高は77億2千7百万円（前年同期比101.8%増）、営業利益は2億2千5百万円（前年同期は営業損失4億4百万円）となりました。

⑥東南アジア

売上高は5億3千9百万円（前年同期比85.3%増）、営業損失は6千万円（前年同期は営業損失2億2千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、1,511億3百万円と前連結会計年度末に比べ1億8百万円増加しております。これは主に、受取手形及び売掛金が40億3千7百万円減少したものの、原材料及び貯蔵品が16億7千1百万円、投資その他の資産が19億6千6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は、726億3百万円と前連結会計年度末に比べ2億7千9百万円増加しております。これは主に、未払費用が増加したこと等により流動負債その他が増加したことによるものであります。

純資産合計は、784億9千9百万円と前連結会計年度末に比べ1億7千万円減少しております。これは主に、利益剰余金が30億4千9百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月26日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,757	29,186
受取手形及び売掛金	39,327	35,290
商品及び製品	2,110	2,313
仕掛品	731	859
原材料及び貯蔵品	9,839	11,511
その他	5,235	4,975
貸倒引当金	△789	△297
流動資産合計	86,213	83,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,492	11,494
機械装置及び運搬具(純額)	11,571	11,393
その他(純額)	14,148	14,842
有形固定資産合計	37,212	37,730
無形固定資産		
のれん	32	30
その他	1,335	1,337
無形固定資産合計	1,368	1,367
投資その他の資産		
投資有価証券	13,711	14,630
その他	12,566	13,611
貸倒引当金	△78	△75
投資その他の資産合計	26,200	28,166
固定資産合計	64,780	67,265
資産合計	150,994	151,103

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,277	31,748
短期借入金	9,819	9,519
未払法人税等	447	426
その他	12,698	14,074
流動負債合計	55,243	55,769
固定負債		
長期借入金	8,500	8,500
役員退職慰労引当金	8	9
株式給付引当金	103	114
退職給付に係る負債	1,464	1,558
その他	7,003	6,650
固定負債合計	17,080	16,833
負債合計	72,324	72,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,040	9,040
資本剰余金	8,700	8,700
利益剰余金	50,664	47,614
自己株式	△1,451	△1,451
株主資本合計	66,954	63,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,967	2,501
為替換算調整勘定	3,396	5,481
退職給付に係る調整累計額	220	239
その他の包括利益累計額合計	5,584	8,222
非支配株主持分	6,131	6,372
純資産合計	78,670	78,499
負債純資産合計	150,994	151,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	37,986	49,089
売上原価	39,316	47,397
売上総利益又は売上総損失(△)	△1,329	1,692
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	1,671	1,494
発送運賃	373	470
その他	2,167	2,385
販売費及び一般管理費合計	4,213	4,350
営業損失(△)	△5,542	△2,658
営業外収益		
受取利息	81	73
受取配当金	103	107
持分法による投資利益	-	262
雑収入	260	78
営業外収益合計	446	522
営業外費用		
支払利息	63	59
持分法による投資損失	235	-
為替差損	1,639	393
雑支出	61	47
営業外費用合計	2,000	499
経常損失(△)	△7,097	△2,636
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	19	23
特別退職金	-	130
特別損失合計	19	154
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,116	△2,790
法人税、住民税及び事業税	148	588
法人税等調整額	103	△598
法人税等合計	252	△9
四半期純損失(△)	△7,368	△2,780
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△195	45
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,172	△2,825

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△7,368	△2,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	310	534
為替換算調整勘定	△910	2,003
退職給付に係る調整額	△4	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△143	277
その他の包括利益合計	△747	2,833
四半期包括利益	△8,115	53
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,817	△188
非支配株主に係る四半期包括利益	△298	241

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識基準等の適用による主な変更点は次のとおりです。

当社グループは、得意先から仕入れた部品及び原材料(以下「有償支給品」という。)に対し、加工を行ったうえで仕入価格に加工費等を上乗せした製品を当該得意先に対して販売する取引(以下「有償支給取引」という。)を行っております。収益認識会計基準等の適用により、有償支給元が実質的に有償支給品を買い戻す義務を負っている場合には、有償支給取引に係る「売上高」と「売上原価」について総額表示ではなく、当該取引の加工費等を「売上高」で純額表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。なお、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の期首の利益剰余金に累積的影響額はありせん。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,678百万円、売上原価は5,678百万円それぞれ減少しております。

また、収益認識会計基準等の適用により、有償支給品並びに製品に含む有償支給品の棚卸高を「原材料及び貯蔵品」並びに「商品及び製品」として表示せず、流動資産の「その他」として表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日 本	北 米	中 南 米	欧 州	中 国	東 南 ア ジ ア	計		
売上高									
外部顧客 への売上高	14,918	6,090	12,847	10	3,829	290	37,986	—	37,986
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	476	33	1,227	8	1,195	161	3,102	△3,102	—
計	15,394	6,124	14,074	18	5,024	452	41,089	△3,102	37,986
セグメント損失(△)	△2,686	△699	△1,580	△112	△404	△223	△5,707	164	△5,542

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日 本	北 米	中 南 米	欧 州	中 国	東 南 ア ジ ア	計		
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	17,882	10,207	12,423	310	7,727	539	49,089	—	49,089
外部顧客 への売上高	17,882	10,207	12,423	310	7,727	539	49,089	—	49,089
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,048	117	1,164	80	1,758	216	4,387	△4,387	—
計	18,930	10,325	13,587	391	9,485	755	53,476	△4,387	49,089
セグメント利益 又は損失(△)	△660	△760	△1,254	△95	225	△60	△2,605	△53	△2,658

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。